

【Plan】計画 / 【Do】実施																		【Check】評価 / 【Action】改善																
施策名	事業名	事業・取組概要	事業評価の活動指標(目標・実績)									事業評価の成果指標(目標・実績)									H29年度			H30年度			事業成果の評価		予算・コストの評価		見直しの方向性(担当者評価)			
			指標名等			H29年度			H30年度			指標名等			H29年度			H30年度			決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)	成果向上 余地はあるか	評価の理由	コスト削減余 地はあるか	事業 評価	1次評価(担当者評価)		2次評価				
			指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	指標	単位	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	事業評価	評価の理由								R2年度予算要求の方向性	所属長評価					
子育て支援の充実	留守家庭児童クラブ専用施設整備事業	保護者が就労等により、家庭にいない児童を対象に、生活の場や適切な遊びを提供する留守家庭児童クラブの専用施設の整備を行う。	専用施設の整備箇所数	箇所	2	2	100%	2	2	100%	新設の児童クラブ数(支援の単位)	箇所	2	2	100%	2	2	100%	62,220	28,877	26,285	中	児童クラブの専用施設の整備は概ねできており、今後は、東山代小学校の建て替えにあわせた整備を行う予定である。	低	施設の新築に係る経費であり、コストの更なる削減は困難である。	維持	今後は、東山代小学校の建て替えにあわせた児童クラブの施設整備が必要となる。	令和2年度においては、児童クラブの専用施設の整備予定はない。	維持	児童クラブの専用施設の整備は概ねできているものの、利用を希望する児童は増加しているため、利用申し込みの状況をみながら対応していく必要がある。また、今後、東山代小学校の建て替えにあわせ、東山代児童クラブの施設整備が必要となる。				
学校教育の推進	公立幼稚園運営交付金事業	公立幼稚園長の裁量による特色ある幼児教育を推進するとともに、幼稚園で発生する様々な課題に迅速に対応するため、黒川幼稚園に対し、公立幼稚園運営交付金を交付する。	交付金額	千円	-	-	-	115	115	100%	特色ある教育活動の実回数	回	-	-	-	5	5	100%	-	115	115	高	公立幼稚園長の裁量により事業を展開できるため、予算の範囲中での事業の充実は可能である。	中	今後、黒川幼稚園の園児数が減少すれば、コストの削減はあり得る。	維持	子どもや地域の状況に応じた特色ある幼児教育を推進するため、事業を維持する。	現状と同額で要求。	維持	幼稚園教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を養う教育であり、公立幼稚園の特色ある教育を展開するためにも、幼稚園長の裁量により実施できるこの事業の意義は大きい。				
学校教育の推進	私立幼稚園支援事業	私立幼稚園を運営する学校法人に対し、経常経費を補助するための補助金を交付する。 ・100千円×2幼稚園=200千円	補助の件数	件	2	2	100%	2	2	100%	対象幼稚園就園児童数	人	330	240	73%	248	227	92%	200	200	200	なし	平成27年度から子ども・子育て支援新制度が導入され、私立幼稚園においても私立保育園と同様に運営に係る費用の補助がなされているため、この事業による補助の必要性は低い。	高	平成30年度をもって、この事業を廃止する。	廃止	本事業の対象である2学校法人が、子ども・子育て支援新制度に基づく幼稚園に移行したため、平成30年度をもって、この事業を廃止する。		廃止	本事業の対象である2学校法人が、子ども・子育て支援新制度に基づく幼稚園に移行したため、平成30年度をもって、この事業を廃止する。				